

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 656-0046
住 所 兵庫県神戸市中央区港島中町四丁目 1 番 1
氏 名 株式会社ダイエー
代表取締役 村井 正平 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項（同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社ダイエー		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎区白石町 6 番 1 号		
該当する事業者 の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業，小売業
	中分類	56	各種商品小売業
主たる事業 の内容	セルフサービスを主体とする商品の小売業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		4, 806 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t－CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	関東事業本部 総務人事部 営繕課
		所在地	東京都板橋区成増 2－2 1－2
	電話番号		03-6891-3715
	F A X 番号		03-6891-3801
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成25年度 ～ 平成27年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

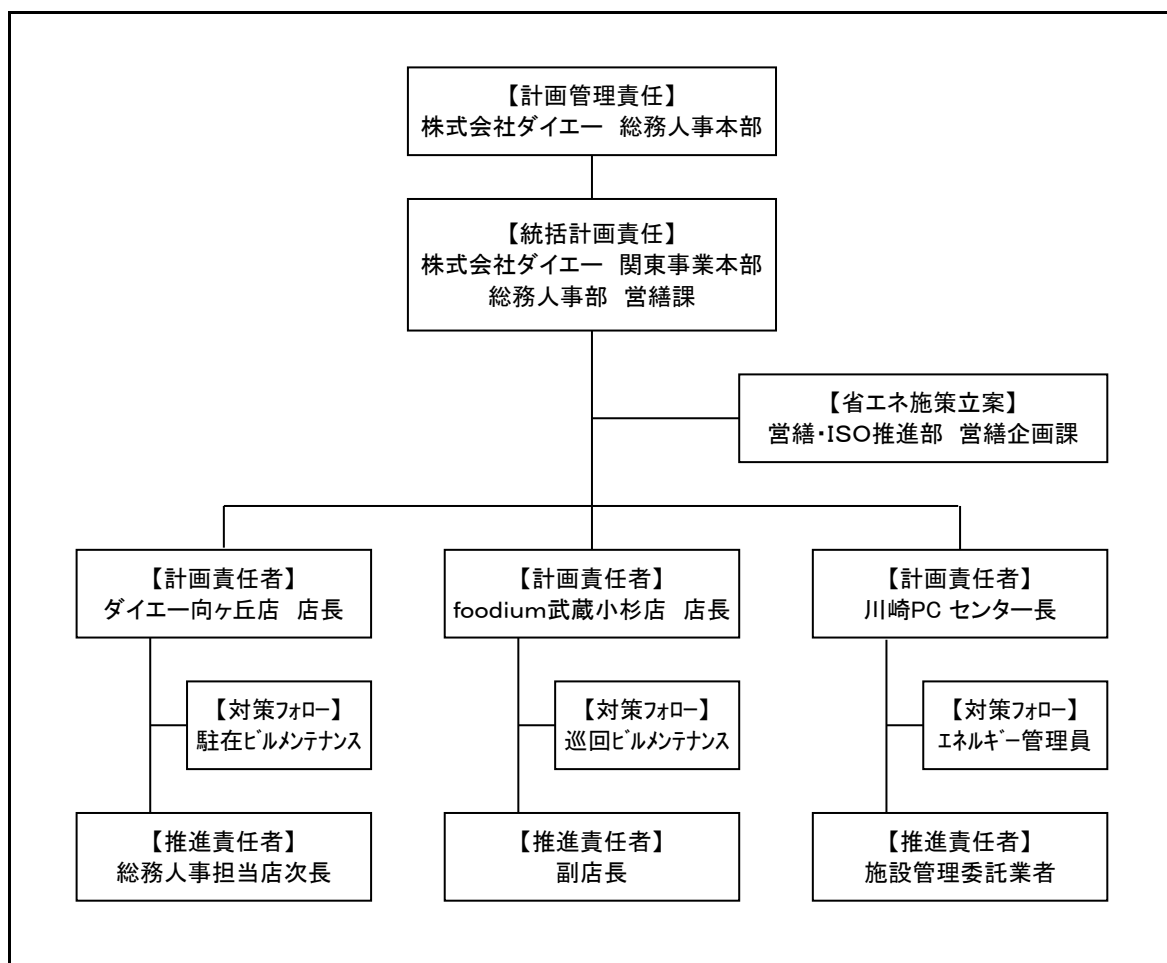
- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1. 当社の事業活動において、環境汚染の予防に努めると共に、環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善をはかります。
2. 環境側面に関連する法規制および、当社が受け入れを決めた要求事項を順守します。
3. 次に挙げるテーマについて重点的に取り組みます。
 - ①省エネルギーの推進
 - ②省資源の取り組み
 - ③廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進
 - ④環境に配慮した活動および商品の提供
4. この方針を全従業員および当社で働く全ての人々に周知するとともに社外に公表します。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



様式第1号

(第2面)

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成24年度	目標年度	平成27年度
基準排出量	(実) 7,278 (調) 7,264 t-CO ₂	目標排出量	(実) 7,035 t-CO ₂
削減率	(実) 3.3 %	削減量	(実) 243 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量		単 位	
基準年度の値		目標年度の値	
削減率	%		
延床面積、生産数量 以外の原単位を使用 した場合の理由			

ウ 目標設定に関する考え方

当社では2009年にISO14001の認証を取得しCO2排出量削減に取り組んでおります。企業としての社会的責任を果たすため、事業活動において「省エネルギー」「省資源」「3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進」「環境に配慮した活動および商品の提供」を通じ、環境負荷の低減と環境保全活動に取り組み、CO2削減目標に向けて環境マネジメントシステムを活用した継続的な改善活動を推進します。 削減目標に関しては電気使用量において2012年度対比3.8%削減（温室効果ガス排出量3.3%削減）のISO目標を設定しており、その達成に向けてさまざまな省エネ施策を構築していきます。
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第1号、第2号、第4号該当者等)	【業務部門】 1. 主要設備等の保全管理 ①主要設備等の管理標準の定期的見直し、改善 ②点検、検査措置の記録作成及び記録の一定期間の保存 2. エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 ①温室効果ガスの排出量と密接に関係を持つ数量の使用量の管理、分析 3. 空気調和設備、換気設備の保全管理 4. 照明設備の管理 ①適正な照度の適用、不要な照明の消灯の実施 5. 省エネルギー機器の導入検討 ①冷凍機、空調機の省エネルギー制御 ②小型冷凍機空冷化 ③冷ケース照明のLED化 等 【産業部門】 1. 主要設備等の保全管理 ①主要設備等の管理標準の定期的見直し、改善 ②設備単位によるエネルギー管理等の徹底 2. 設備で用いる蒸気の適切な乾き度の維持 3. 放射、伝熱等による熱の損失の防止 ①熱利用設備に係る断熱の保全管理 ②スチームトラップの保全管理 4. 廃熱の改修利用 ①排ガス・蒸気ドラインの廃熱回収の管理 5. 空気調和設備、換気設備の保全管理 ①冷凍機の効率管理 ②換気設備の運転管理 6. コンプレッサの吸気管理
自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置 (第3号該当者等)	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

- ・ 主要設備等の管理標準の作成
- ・ 設備単位によるエネルギー管理等の徹底
- ・ 蛍光灯のHf蛍光灯への更新
- ・ 空調温度設定調整(25℃⇒28℃)
- ・ 過剰、不要照明の間引き(2本⇒1本へ減灯)
- ・ 高効率反射板付き照明の導入(消費電力1/3に減少)
- ・ 売場スポットライトのLED化(ハロゲン⇒LED 消費電力1/3に減少)
- ・ 水引、スクリーン照明のLED化(消費電力1/3に減少)
- ・ 冷暖房設備の更新(営業時間外の消費電力改善)

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. OA用紙使用量削減
2013年目標：2011年度比 3.9%（店舗）、17.8%（事務所）削減
2. 水使用量の削減
2013年目標：2010年比 16.2%削減
3. 食品リサイクルの推進
2013年目標：食品リサイクル率 37.0%
4. 環境配慮型商品の販売
2013年目標：2012年度比 110.0%
5. リュウ袋削減活動の推進
2013年目標：リュウ袋辞退率 40.0%

様式第 1 号

(第 7 面)

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	7,278	t-CO ₂
(調)	7,264	

イ 第 3 号該当者等

(実)	t-CO ₂
(調)	

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
ダイエー川崎プロセスセンター	川崎区白石町6番1号	6900	不動産賃貸業	4,555 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
f o o d i u m武蔵小杉店	中原区新丸子東3-1100-14	5811	各種食品小売業	968 t-CO ₂
ダイエー向ヶ丘店	多摩区登戸2789	5611	百貨店・総合スーパー	1,755 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--